

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年9月19日(火)	確認目的	海洋放出終了後のALPS処理水希釈放出設備点検状況の確認
確認箇所	多核種移送設備建屋、ALPS処理水移送配管		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>第1回目の放出が8月24日から9月11日に実施され、放出終了後はALPS処理水希釈放出設備の点検が行われることから、その状況を確認した。</p> <p>また、9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ベント弁フランジ部の漏えい警報(原因は雨水の浸入であり、処理水の漏えいは無し)が発生し、東京電力が類似箇所の調査を実施していたことから、現場の状況を確認した。</p> <p>【多核種移送設備建屋における点検作業の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理水移送ポンプ周辺配管に取り付けられている圧力計の点検作業が行われていた。(写真1) <p>【ALPS処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移送配管にはベント弁が10箇所(上流側からベント弁1~10)設置されている。9月6日に漏えい警報が発生したのはベント弁3であり、残り9つのベント弁について、防水カバーを半分取り外して内部に雨水が浸入していないか確認し、復旧する点検作業を行うとのこと。ベント弁1については異常がないことから、復旧作業を行うとのことであった。(写真2) 		
			
	(写真1) 圧力計の点検状況		(写真2-1) ベント弁2の点検作業の状況
			
(写真2-2) ベント弁1の状況			